第 23 回
日本家族社会学会大会
プログラム

2013 年 9 月 7 日（土）・8 日（日）

開催校・会場：静岡大学

大会日程

会場：静岡大学

▼第1日　2013年9月7日（土）

09：30～	**受付開始**	共A棟2階玄関
10：00～12：00	**自由報告(1)** ① 介護 ② 子育て ③ 再婚・ステップファミリー ④ 家族制度	 共A202 共A101 共A102 共A103
12：00～13：20	**昼休み** 編集委員会 研究活動委員会 NFRJ委員会 庶務委員会	 共A104 共A105 共A203 共A206
13：20～16：30	**テーマセッション(1)**：夫婦の出生力低下をめぐって **テーマセッション(2)**：家族からの自由／家族への自由 ――『家族』の内実への挑戦 **テーマセッション(3)**：家族からの自由／家族への自由 ――生の基盤をつくるネゴシエーション	共B301 共A201 共A201
16：45～18：15	**総会**	共B301
18：30～20：00	**懇親会**	生協第1食堂

▼第2日　2013年9月8日（日）

08：30～	**受付開始**	共A棟2階玄関
09：00～10：30	**自由報告(2)** ⑤ 世代間関係 ⑥ 生殖と医療 ⑦ 中年期・高年期 ⑧ 出生行動	 共A202 共A101 共A102 共A103
10：45～12：45	**自由報告(3)** ⑨ 東アジアの結婚と家族 ⑩ 恋愛と結婚 ⑪ 仕事と家族 ⑫ 父親	 共A101 共A102 共A103 共A202
12：45～13：45	**昼休み** 編集委員会 研究活動委員会 NFRJ委員会 庶務委員会 シンポジウム打ち合わせ	 共A104 共A105 共A203 共A206 共A204
13：45～16：30	**シンポジウム** 地域社会と家族戦略	共B301

注）共A：共通教育A棟
　　共B：共通教育B棟

大会プログラム

第1日　9月7日（土）

受付開始（共A棟2階玄関）　9：30 ～

午前の部　10：00 ～12：00

自由報告（1）

①介護（共A202）　司会　笹谷春美（北海道教育大学）

①-1　夫／息子介護者の語りにみる「動機の語彙」　松井由香（お茶の水女子大学・院）
①-2　「介護ライフスタイル」論の課題と展望　春日井典子（甲南大学）
①-3　遠距離介護者が参加するケア会議における老親についての知識と「家族」の達成　中川　敦（島根県立大学）

②子育て（共A101）　司会　木脇奈智子（藤女子大学）

②-1　障がい児を持つ母親の家族についての語り　大久保麻矢（お茶の水女子大学・院）
②-2　幼児を育てる保護者の子育ての悩み ―幼稚園・保育所をとおした質問紙調査の自由記述から―　表　真美（京都女子大学）
②-3　戦後日本における「母子密着」言説の変容 ―「育児の孤立化」の言説史の視点から―　梅田直美（大阪府立大学）
②-4　幼小接続期における親の教育期待と不安　小玉亮子（お茶の水女子大学）／加藤美帆（お茶の水女子大学）／清水美紀（お茶の水女子大学・院）

③再婚・ステップファミリー（共A102）　司会　稲葉昭英（首都大学東京）

③-1　JGSSをもちいた継子数の推計の試み　佐野俊幸（首都大学東京・院）
③-2　再婚家族における成人のディストレス ―NFRJ03, 08データを用いて―　大日義晴（首都大学東京・院）
③-3　再婚からみる「家族の多様化」とライフコースの変化　余田翔平（日本学術振興会）
③-4　継親子関係の多様性と世帯内外の家族・親族関係 ―ステップファミリーの子どもたちへのインタビュー―　野沢慎司（明治学院大学）／菊地真理（大阪産業大学）

④家族制度（共A103）　司会　池岡義孝（早稲田大学）

④-1　隠居制家族における家族構造 ―直系制家族か、それとも夫婦制家族か―　工藤　豪（埼玉学園大学）
④-2　人口学と家族研究 ―家族制と親子同居をめぐって―　廣嶋清志（島根大学）
④-3　戦前期日本における家族情緒の概念と思想 ―政府官版による家族像への着目から―　本多真隆（慶應義塾大学・院）
④-4　結婚と離婚の地域性 ―試験婚の2つのタイプ―　加藤彰彦（明治大学）

昼食・委員会　12：00 ～13：20

午後の部　13 : 20 〜 16 : 30

13 : 20 〜 16 : 30
テーマセッション（1）（共B301）

夫婦の出生力低下をめぐって　　**オーガナイザー・司会　山田昌弘（中央大学）**

（1）-1「少子化と夫婦の生活環境に関する意識調査」の概要　飯島亜希（内閣府経済社会総合研究所）
（1）-2 夫婦の伴侶性と家族規範意識が追加出産意向に及ぼす影響　松田茂樹（中京大学）
（1）-3 世代間関係と子世代の出生数との関連　施　利平（明治大学）
（1）-4 妊娠先行型結婚にみる夫婦関係と夫婦出生力の状況　永田夏来（兵庫教育大学）
（1）-5 夫の育児参加と夫婦の第2子、第3子の出生意欲
—理想と現実的出生意欲の比較 —　内野淳子（内閣府経済社会総合研究所）
（1）-6 セックスレスが出産行動に及ぼす影響について　山田昌弘（中央大学）

13 : 20 〜 14 : 50
テーマセッション（2）（共A201）

家族からの自由／家族への自由
——『家族』の内実への挑戦　　**オーガナイザー・司会　牟田和恵（大阪大学）**

（2）-1 養子は「生物的親」の存在をどのようにマネジメントするか
—「生物的親」の定義と「生物的親」との交流を中心に—　野辺陽子（神奈川県立保健福祉大学）
（2）-2 親子間の「理解」の相対化
—子どもから親へのカミングアウトをめぐって—　三部倫子（お茶の水女子大学）
（2）-3 ＜非異性愛者をもつ家族＞にとっての「家族」とは
—カミングアウトされた家族の葛藤に着目して —　元山琴菜（大阪大学・院）
（2）-4 強制されたモノガミー主義への挑戦
—米国ポリアモリー実践者の築く実験的「家族」—　深海菊絵（一橋大学・院）
ディスカッサント　久保田裕之（日本大学）

15 : 00 〜 16 : 30
テーマセッション（3）（共A201）

家族からの自由／家族への自由
——生の基盤をつくるネゴシエーション　　**オーガナイザー　牟田和恵（大阪大学）**
司会　野辺陽子（神奈川県立保健福祉大学）

（3）-1 里親による子どものための〈家族〉実践　安藤　藍（お茶の水女子大学・院）
【報告キャンセル】~~（3）-2 公営コレクティブハウジングにおける高齢者夫婦と家族関係の再編~~　~~稲見直子（大阪大学・院）~~
（3）-3 シェアが「家族」になるとき／「家族」を超えるとき
—非家族家庭としてのホームシェア—　久保田裕之（日本大学）
（3）-4 看護ケアからみえる家族の代替可能性
—患者の代理意思決定者としての家族への支援を通して —　影山葉子（静岡県立大学）
ディスカッサント　牟田和恵（大阪大学）

総会（共B301）　16 : 45 〜 18 : 15

懇親会（生協第1食堂）　18 : 30 〜 20 : 00

第2日　9月8日（日）

受付開始（共A棟2階玄関）　8：30 ～

午前の部1　9：00 ～10：30

自由報告（2）

⑤世代間関係（共A202）　**司会　米村千代（千葉大学）**

⑤-1　青年期の孫からみた祖父母との関係認知とコミュニケーションとの関連　加藤邦子（宇都宮共和大学）

⑤-2　家族再統合と親子の距離化 ―児童自立支援施設での実践から―　藤間公太（慶應義塾大学・院，日本学術振興会）

⑤-3　都市居住と家族関係 ―居住地選択における家族的要因の分析―　松川尚子（関西学院大学）

⑥生殖と医療（共A101）　**司会　松岡悦子（奈良女子大学）**

⑥-1　出産の施設化完了期の出産経験 ―2013年実施調査結果から―　白井千晶（早稲田大学）

⑥-2　生殖補助医療によってドナーの匿名性のもとに生まれた子の出自を知る権利を巡る取り組みと課題　南　貴子（愛媛県立医療技術大学）

⑥-3　家族計画と人工授精 ―1940年代後半から1950年代にかけての展開―　由井秀樹（立命館大学・院，日本学術振興会）

⑦中年期・高齢期（共A102）　**司会　藤崎宏子（お茶の水女子大学）**

⑦-1　超高齢社会における単身高齢者の地域居住選好意識の考察 ―〈自立・参加・共生〉理念の「Yコミュニティ」への転居分析―　菱山秀子（東京女子大学・院）

⑦-2　高年齢者の精神的健康に関するパネル分析　水落正明（南山大学）

⑦-3　中年期シングル女性におけるソーシャル・サポートとディストレス　大風　薫（お茶の水女子大学・院）

⑧出生行動（共A103）　**司会　廣嶋清志（島根大学）**

⑧-1　親の教育費負担意識と出生意欲 ―教育費負担によって子ども数を抑制しているのは誰か―　新谷由里子（国立社会保障・人口問題研究所）

⑧-2　子ども数の選好に関する質的研究　岡村利恵（お茶の水女子大学・院）

⑧-3　出産意図に関わる肉体的・精神的負担感の軽減　佐藤晴彦（平成国際大学）

午前の部2　10：45 ～12：45

自由報告（3）

⑨東アジアの結婚・家族（共A101）　**司会　上野加代子（徳島大学）**

⑨-1　韓国人はなぜ国際結婚をするのか ―韓国における国際結婚の意味―　笹野美佐恵（ソウル国立大学・院）

⑨-2　韓国と日本のエイジズム (Ageism) 影響要因の比較検討　殷　棋洙（ソウル国立大学）
金　珠賢（ソウル国立大学）
杉井潤子（京都教育大学）

⑨-3　韓国における「教育する母」のステータス ―高学歴中間層女性の自己実現の様相―　柳　采延（東京大学・院）

⑨-4　東アジア諸国における同棲状態の関連要因 ―EASSミクロデータの分析結果を中心に―　小島　宏（早稲田大学）

⑩恋愛と結婚（共A102） **司会　小澤千穂子（大妻女子大学）**

⑩-1　1970年代以降の未婚化と初婚構造の変容
　　―どのような結婚が失われたのか―　岩澤美帆（国立社会保障・人口問題研究所）
⑩-2　学歴同類婚の日米比較
　　―未婚カップルと既婚カップルの違いに注目して―　茂木　暁（東京大学）／石田　浩（東京大学）
⑩-3　高学歴若年者の恋愛観・恋愛行動の諸相　大森美佐（お茶の水女子大学・院）
⑩-4　結婚前差別・結婚後差別
　　―被差別部落出身者に対する結婚差別の事例から―　齋藤直子（大阪市立大学）

⑪仕事と家族（共A103） **司会　末盛　慶（日本福祉大学）**

⑪-1　海外派遣社員（駐在員）家族の企業 ―家族関係と生活適応―　高丸理香（お茶の水女子大学・院）
⑪-2　共働きの夫の家事参加における妻の就業要因と末子年齢　中川まり（カリタス女子短期大学）
⑪-3　米国研究者の仕事外交流ネットワークの分析
　　―育児と学科内でのつながりの関係―　渡邉　恵（ネブラスカ州立大学・院）
⑪-4　職場から見た女性の意識と行動の変化
　　―『日経Woman』読者投稿欄から―　宇野みどり（お茶の水女子大学・院）

⑫父親（共A202） **司会　多賀　太（関西大学）**

⑫-1　ひとり親の父の子育てと仕事
　　―家庭と職場における役割遂行と資源―　岩下　好美（お茶の水女子大学・院）
⑫-2　父親の子育て参加を通した成長認識　佐々木卓代（お茶の水女子大学）
⑫-3　中国山西省における自営業[1]の父親の養育行動と子どもの価値
　　―「晋商」の家族を中心に―　劉　　楠（お茶の水女子大学）
⑫-4　家族の中の「居場所」としての父親の「子育て」　巽　真理子（大阪府立大学・院）

昼食・委員会　12：45 ～ 13：45

午後の部　13：45 ～ 16：30

シンポジウム（共B301）

地域社会と家族戦略 **司会　中里英樹（甲南大学）／大槻奈巳（聖心女子大学）**

地方の若者就労支援の現場からみる、若者と家族の課題　津富　宏（静岡県立大学）
子どもを持つ避難被災者の行動と心の葛藤
―支援の現場から―　西森由美子（NPO法人ウィズネイチャー）
災害における家族と支援、その制度設計の課題　山地久美子（大阪府立大学）
コメンテーター　神原文子（神戸学院大学）

閉会　16：30

連絡事項

1. 参加登録及び参加費等の事前納付

- **大会参加登録について**
  2010 年度の大会より、大会参加を希望される会員は、事前に**大会参加登録**を行っていただくことになりました。Web が利用できる環境の方は、日本家族社会学会第 23 回大会ホームページ（日本家族社会学会ホームページより入る）から登録を行うことができます。ログイン名とパスワードが必要ですが、ログイン名は学会からの送付物のタックシールに記載されている番号（数字 8 桁、会員名簿に記載されている数字を下 4 桁、上 4 桁の数字を 0 にした番号）です。パスワードが不明な場合は、「会員専用ページ」から問い合わせることが可能です。Web が利用できない環境の方は、同封されている登録票を用いて、ファックスまたは郵送で登録をお願いします。送信・郵送先は日本家族社会学会大会ヘルプデスク（Fax: 03-3368-2827、〒162-0801　新宿区山吹町 358-5　アカデミーセンター）となります。なお、大会参加登録をしていない場合に当日の参加が認められないということはありませんが、参加登録は事前納付などの確認と、ネームカードの用意などのために必要となります。
- **大会参加費･懇親会費･お弁当代の事前納付について**
  事前納付は、同封されている郵便振替票（00110-7-512376、加入者名・日本家族社会学会大会）を用いた振込か、カードによるオンラインでの支払いが可能です。カードの場合は、第 23 回大会ホームページで大会参加登録をされるときに、「決済方法」を「クレジット」にチェックすると、参加登録と同時にオンラインでの事前納付が可能になります。当日の受付業務の軽減のためにも、参加される方は、原則として、大会参加費等の事前納付をお願いいたします。事前納付される場合は、以下の通り、参加費等が割引となります。

＜＜郵便振込みの場合＞＞　＊手数料は本人負担となります（以下は手数料抜きの値段）。
郵便振替口座番号：00110-7-512376　　加入者名：日本家族社会学会大会
一般：大会参加費（事前納付 3,500 円、当日払い 4,500 円）　＊要旨集代含む
　　懇親会費　（事前納付 4,000 円、当日払い 5,000 円）
学生･会費減額申請が承認された会員
　：大会参加費（事前納付 2,500 円、当日払い 3,000 円）　＊要旨集代含む
　　懇親会費　（事前納付 2,500 円、当日払い 3,000 円）

＊一般・学生ともに、一日目、二日目の弁当代（お茶付）は各 1,000 円です。
　　（弁当の予約は事前納付の場合のみ可能）

＜＜カード払いの場合＞＞　＊手数料は本人負担となります（以下は手数料込の値段）。
一般：大会参加費（事前納付 3,675 円）　＊要旨集代含む
　　懇親会費（事前納付 4,200 円）
学生･会費減額申請が承認された会員
　：大会参加費（事前納付 2,625 円）　＊要旨集代含む
　　懇親会費（事前納付 2,625 円）

＊一般・学生ともに、一日目、二日目の弁当代（お茶付）は各 1,050 円です。
　　（弁当の予約は事前納付の場合のみ可能）

2. 事前登録・事前納付の期限

- 上記の大会参加事前登録、参加費等の事前納付の期限は、次の通りです。

	参加登録期限	参加費等事前納付期限
①Web による参加登録 +郵便振替による納付	8 月 19 日(月)	8 月 19 日(月)
②登録票送付(fax もしくは郵送) +郵便振替による納付	8 月 14 日(水) 大会ヘルプデスク必着	8 月 19 日(月)
③Web による参加登録 +カード支払い	8 月 21 日(水)24 時まで	8 月 21 日(水)24 時まで

- **①の場合**は、Web 上の参加登録及び郵便振替による参加費等の納付ともに締切は**8 月 19 日(月)**です。**②の場合**は、郵便振替による参加費等納付の期限は①と同じく **8 月 19 日(月)**ですが、登録票の郵送もしくはファックス送信の期限は **8 月 14 日(水)**ですから、お間違えのないようにお願いいたします。**③の場合**は、Web 上で参加登録と参加費等の納付を同時に行っていただくことになります。その期限は **8 月 21 日(水)24 時**までになります。
- いずれの方法を採られる場合も、上記の期限は厳守してください。とくに期限を過ぎた参加費等の納付は「事前納付」とはみなさず、大会受付で、当日料金との差額をいただくことになります。
- いずれの方法であっても、参加費等を事前納付された後は、万が一大会にご出席できなくなっても、参加費の払い戻しはご容赦ください。報告要旨集は後日郵送いたします。
- 常勤職にないなどの理由による会費減額申請の受付は 2013 年 5 月 31 日に終了しています。現段階で承認を受けている方のみが学生会員と同じ料金設定になります。
- 非会員で参加をご希望の方は、参加費等の事前納付の対象にはなりませんので、大会当日に受付までお申し出ください。非会員の方の参加費は、報告要旨集を含んで、一般 4,500 円、学生 3,000 円、懇親会費は一般 5,000 円、学生 3,000 円です。
- 大会の参加受付は、第 1 日目（9 月 7 日）は午前 9 時 30 分、第 2 日目（9 月 8 日）は午前 8 時 30 分からです。

3. その他の注意事項

- **報告要旨集**
  大会当日受付でお渡しいたします。また、9 月 4 日（水）には大会ホームページ上で公開いたしますので、事前にご覧になりたい方はアクセスしてください。なお、大会には参加しないが冊子体の要旨集の購入を希望される方は、別途、大会事務局まで連絡ください。大会終了後、要旨集 2,000 円＋送料でお分けします。
  大会実行委員会事務局メールアドレス: jsfs-taikai@bunken.co.jp
- **懇親会**
  大会第 1 日目（9 月 7 日）午後 6 時 30 分より、大学食堂にて懇親会を開催いたします。多くの会員と交流する絶好のチャンスです。ご参加いただければ幸いです。なお、懇親会費につきましても、ご欠席の場合の払い戻しはいたしませんので、ご了承ください。
- **昼食について**
  事前の参加手続きの際に、お弁当のご予約を承ります。お弁当を希望される方は、大会参加費とともに事前納付をお願いいたします。大会当日のお弁当のご注文は受けかねますのでご注意ください。なお、大学の周辺にはコンビニエンスストアや飲食店が全くありません。大会両日とも大学生協は閉まっていますので、必ずお弁当の申し込みをご利用ください。
- **宿泊について**
  開催校のほうで情報提供はいたしませんので、各自お手配ください。

4. 研究報告者および司会者の方々へ

- 自由報告の報告時間は 20 分、質疑応答は 5 分です。報告者と司会者は，セッション開始 10 分前に会場の前方に集合してください。

- **大会当日の配布資料について**
  自由報告は 80 部、テーマセッション報告は 150 部、シンポジウムは 200 部を各自でご用意ください。会場での個別のコピー・サービス、配布資料の会場への事前送付には対応できかねますので、ご了承ください。
- **自由報告・テーマセッションの司会者の方へのお願い**
  参加者の便宜のため報告者の進行時間を厳守してください。当日報告者に欠席が生じた場合は、報告者の順番を詰めて進め、欠席があったことを会場入り口に掲示してください。
- **PowerPoint 等の使用に関する注意事項**
  a. 開催校では、プロジェクタに接続済みのノートパソコン（Windows 7, Microsoft Power Point 2007）をすべての報告会場の教室に用意します。
  b. Microsoft-Power Point 2007 の pptx もしくは ppt 形式、あるいは PDF 形式で保存したデータを USB メモリに記録してお持ちください。
  c. 機器を使用する報告者は、部会開始 15 分前に報告会場となる教室におこしください。機器使用に関する準備・打ち合わせなどを行ないます。
  d. 開催校ではできるかぎり準備と協力をいたしますが、機器操作の結果につきましては報告者の自己責任でお願いします。万が一機器が作動しない場合に備えて、複写して配布可能な印字原稿を用意いただくなど、次善の方策もお考えください。
  e. どうしてもご自分のパソコンを持ち込んで使用なさりたい場合には、通常のミニ D-Sub 15 ピン・メス型コネクタが装備されていることをご確認ください。アダプタが必要な場合はご自身でご持参ください。また当日は接続に多少の時間がかかることを見込んで準備をお願いします。
  f. レーザーポインタなど、他に必要とされる機器はご自身でご用意ください。

5. 大会期間中の託児室の設置について

- 大会期間中、静岡大学内の託児室(庭つき)を利用できます。保育担当事業者は、静岡大学と協定を結んでいるMKスクエアです。託児室の使用にかかる費用は学会会計によりまかなわれますが、その一部を利用料ということでご負担いただきます。利用料は、お子さんお一人につき1日2,000円、半日1000円です。学会員以外の方もご利用になれます。

  利用時間　　9月7日（土）　9：30～18：30
  　　9月8日（日）　8：45～17：00
  対象年齢　　生後８ヶ月を経過した乳児から満10歳までの児童

- **申し込み方法**
  保育を希望される方は、**①～④の内容を必ずご記入の上、8 月 29 日（木）までに、**下記宛にお申し込みください。（事前に、保育士と保護者の間で持ち物やお子さんの保育に必要な情報を交換したり、遊びの計画を立てたりしますので、できるだけ期日までにお申し込みください。）
  ①保護者氏名、②お子さんのお名前(ふりがな)と年齢・月齢、③託児室利用についての連絡先：電話番号（当日、緊急連絡が可能な番号）とメールアドレス、④保育希望の日時（何日の何時から何時まで保育を希望するか）
  申込み先：大会実行委員会事務局メールアドレス jsfs-taikai@bunken.co.jp
  注：お子さんの昼食等は保護者がご用意ください。
  　当日のキャンセルには、キャンセル料がかかることをご了承ください。

6. その他

- 当日、抜き刷り交換コーナーを設けますので希望者は **8 月 29 日(木)までに大会実行委員会事務局に**連絡ください。なお当日の抜き刷り冊子の管理（展示、撤収など）については各自の責任で行ってください。例年同様、出版社に書籍・雑誌を展示・販売いただくコーナーも開設いたします。
- 大会に関してご不明な点などありましたら、大会実行委員会事務局（jsfs-taikai@bunken.co.jp）宛にメールにてお問い合わせください。
- 大会ホームページ（http://www.wdc-jp.com/jsfs/conf/2013/index.html）にも同様の内容を掲載しています。

会場案内

【会場・連絡先】

大会実行委員会事務局：静岡大学人文社会科学部　舩橋研究室

〒422-8529　静岡市駿河区大谷 836

jsfs-taikai@bunken.co.jp

大会本部（大会当日）：共通教育 A 棟 204 教室

【会場へのアクセス】

○JR 静岡駅からの所要時間　約 30 分

・JR 静岡駅北口バスターミナル 8 番乗場から「静岡大学」又は「東大谷」行きに乗車し、①「静岡大学」又は②「静大片山」下車（※注意：午後発の東大谷行きバスの一部には「静大片山」「静大前」に停車しないものがあります。その場合は③「片山」で下車してください。）
各バス停から大会会場までは下記の道順をご覧ください（○数字がバス停の位置）。

・タクシーの場合は静岡駅南口から 1700 円程度(15 分)です。高速道路をくぐった先の「静岡大学」表示の左側の坂を突き当たりまで上るか、正門から回って図書館下で降ろしてもらうと近いです。

○富士山静岡空港からの所要時間　静岡駅までバスで約 60 分

富士山静岡空港＝空港アクセスバス→（約 60 分）→JR 静岡駅

【最寄バス停からの道順】

＜正門＞　　＜保育室＞

受付（共通教育 A 棟の入り口）は、☆印のところです。

学会参加者のための駐車場はありませんので、上記の交通機関をご利用ください。

【大会実行委員】

舩橋惠子（実行委員長、静岡大学）、南山浩二（成城大学）、吉田崇、笹原恵、冬木春子（静岡大学）、犬塚協太（静岡県立大学）、庭野晃子、今福恵子（静岡県立大学短期大学部）